

分野	ため池の補強等		事業番号	3	事業名	県営ため池等整備(特定農業用管水路)		
市町村名	安曇野市	(ふりがな) 箇所名	ちゅうしんさがんほりがね 中信 左岸掘金		事業年度 (完了年度は見込み)	年度 ~ 年度		
事業概要	計画概要 (延長・巾・面積・工種など)	管水路改修 L= 6,840m			H23年度末事業進捗率	0		
	H24年度以降実施内容	同上			本工事費ベース	0		
	H24年度実施内容	-			用地補償費ベース	-		
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度要求額	H24年度以降残		
	事業費計(千円)	500,000	0	0	0	500,000		
	財源内訳	国庫支出金	250,000	0	0	0	250,000	
		その他	75,000	0	0	0	75,000	
県債		157,000	0	0	0	157,000		
一般財源		18,000	0	0	0	18,000		
事業評価	区分	評価項目・指標等			評価		ランク	評点
	必要性 (20)	受益面積	100ha以上	20ha以上~100ha未満	20ha未満	A	3	
		施設危険度	人家への災害が予想される	農地への災害が予想される	災害が予想されない		15	
		小計					18	
	重要性 (20)	水利施設としての依存度	依存度 100%(他に水系なし)	依存度50%以上100%未満	依存度50%未満	A	10	
		市町村計画での位置付け	位置付けあり	位置付けなし			5	
		県農政の重要施策への取り組み	2つ以上推進している	1つ推進している	取組みなし		5	
	小計				20			
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	B/C1.2以上	B/C1.1以上~1.2未満	B/C1.0~1.1未満	B	5	
		早期発現度(効果発現まで)	3年未満	3年以上5年未満	5年以上		3	
		地域特有の取組みをしている	2項目以上	1項目	なし		1	
	小計				9			
	緊急性 (25)	農業被害	5年に2回以上	5年に1回	なし	B	10	
		農業用管水路の破管数	0.5箇所以上/ha	0.3~0.5箇所以上/ha	0.3箇所未満/ha		5	
		維持管理費節減	50%以上	30%以上50%未満	30%未満		3	
	小計				18			
	計画 熟度 (20)	地域からの要望	地域住民の内発的な活動が強い	市町村からの要望がある	特に要望ない	C	6	
		事業情報の共有	関係者以外に広く周知	関係者を中心に周知	特に周知してない		3	
		住民参加の状況	住民が計画策定に直接参加	住民や市町村の意見を計画策定に反映	住民意見は反映していない		0	
	小計				9			
費用対効果(B/C)		(1.2)		評価項目の合計		B	74	
事業 周 辺 環 境	事業に至る歴史的経緯・社会的背景	本地区は、昭和51から57年にかけて県営ほ場整備事業 中信左岸地区により、畑地かんがい施設が整備された地区である。管路は石綿管 150~400mmであり築造から30年余が経過し、老朽化が著しい本施設は管路の破損、バルブ等からの漏水の発生による農業被害が発生している。そこで、畑地かんがい施設の管路網を更新することにより、用水の安定供給、維持管理費の節減を図り、安定した営農基盤を確立したい。						
	地域からの要望経緯	破管等による、維持管理費が増加傾向にある。そこで、平成21年度から施設管理者である中信平左岸土地改良区が更新整備についての検討を行ってきた。受益者の意向調査を行い、早急な更新整備が必要として、平成22年9月に中信平左岸土地改良区から安曇野市へ要望が出されている。						
	事業説明等の経緯	管理運営委員会を通して、地元要望・意見などを収集し、委員会等で検討会が複数回が行なわれている。また、平成22年12月22日には土地改良区総代会で了解が得られている。						
	環境・景観への配慮項目	工事期間中、重機械の振動・騒音・排出ガス対策のため、早朝及び夜間の作業を自粛し、排出ガス対策型の機械を使用する。また、表土剥ぎ、表土戻しを徹底し、外来植物等の移入を避ける。						
	他事業・プロジェクトとの関連	平成17年から実施されている国営中信平二期農業水利事業から農業用水を引水しており、一体的に効果を発現することができる。						
特記事項	特になし。							
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	石綿管の老朽化により破管の危険性が高まっており、用水の安定確保と災害防止のため、管路の早急な改修が必要である。		政策評価課 意見	計画熟度がやや低い。				